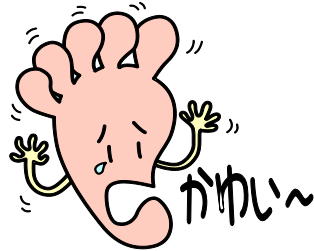


# 水虫

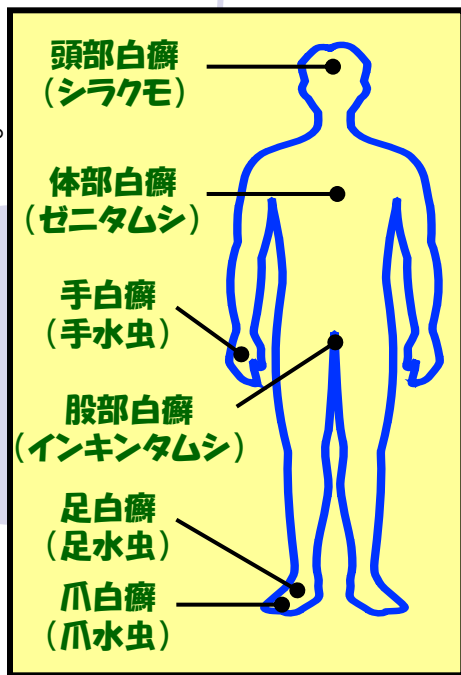


## ◆水虫とは◆

水虫とは、**白癬(はくせん)菌**と言う**カビ**が足の裏や足の指の間、手のひらなどに寄生して起こる感染症のことです。日本では5人に1人が足水虫にかかっていると言われています。

## ◆感染場所◆

水虫は足以外にも**頭・体・手・股・爪**などにも感染します。また、感染場所によって呼び名が変わるのも水虫の特徴です。頭部だと**頭部白癬(シラクモ)**、体部だと**体部白癬(ゼニタムシ)**、股部だと**股部白癬(インキンタムシ)**と呼ばれます。最も多いのが足水虫で全体の6割、次に多いのが爪水虫で全体の2割です。水虫は、**足と爪で全体の8割以上を占めています。**



## ◆どうやって感染するか◆

白癬菌はアカと一緒にはがれ落ちて、他の人の皮膚に付着し、皮膚の中へ侵入することでうつります。水虫の足を手で触っただけでうつることはあまりありません。

## ◆感染を防ぐためには◆

公共の場で使用するスリッパ・サンダルなどの履き物を履いた後や、浴場、サウナなどでマットに足が触れた後は気をつけましょう。**足を毎日よく洗い、白癬菌を皮膚につけたままにしないようにすることが大切です。**足を洗った後はきちんと乾燥させることも忘れずに。女性の方は、冬場にブーツを履き続けると通気が悪くなるので、時々脱いで風を通しましょう。また、家族内で感染することも多いため、**タオルやマットを別にしたり、掃除をこまめにするようにしましょう。**

## ◆どのように治療するのか◆

### ①足水虫

足水虫はまず**塗り薬**で治療します。塗り薬には、**軟膏・クリーム・液(ローション)**があり、症状にあった剤形を選択します。

白癬菌がいる角質層は約1ヶ月ではがれ落ちて新しい角質層になります。そのため、**症状がなくなっても最低1ヶ月は塗り続ける必要があります。**

### ②爪水虫

爪水虫の場合、塗り薬だと爪の中まで浸透しにくいので、爪の中で長くとどまる飲み薬が有効です。**治療には、通常3~6ヶ月ほどかかります。**

## ◆パルス療法とは◆

飲み薬の治療法は、約6ヶ月間毎日飲む「**連続服用法**」と「**パルス療法**」があります。「パルス療法」とは**通常よりも多めの薬を1週間飲み続け、次の3週間は服用を休むというサイクルを3回繰り返す治療法**です。

